

矢崎環境取り組みプラン(2016年度の実績・評価と2017年度の目標)

評価基準 ○ 達成率 100%以上 ▲ 達成率 90%以上 100%未満 ✕ 達成率 90%未満

項目	めざす状態または目的値	達成年度	2016年度の実績	評価	2017年度の目標
環境マネジメントの充実					
環境コミュニケーション	ステークホルダーとの双方向のコミュニケーションを通じ、企業の改善が継続的に実施されている状態	—	生産事業所にてサイトレポート発行およびステークホルダーミーティング実施	○	生産事業所でのサイトレポート発行とステークホルダーミーティング実施の継続
環境教育	全従業員に環境意識が浸透し、自らの意思で環境取り組みを実施できる状態	—	拠点、部門ごとに専門教育と一般教育を実施	○	地域、拠点、部門ごとに専門教育の実施
環境コンプライアンス	各拠点に適用される環境法令の把握と法遵守のための体制が確立され、定期的に法遵守監査が実施されている状態	—	・各地域で計画に基づき監査を実施 ・環境法令違反ゼロ	○	・SOC測定体制のグローバルでの維持管理 ・環境法令違反ゼロの継続
	製品に含有される化学物質の各国での法的要求および顧客要求を遵守するための体制が確立されている状態	2016	日本、欧州、米州のIMDSデータの共通業務フローを作成	▲	日本、欧州、米州の仕組みの標準化と統一システムの導入
サプライチェーンにおける環境管理の強化	環境管理に関する課題を仕入先と共有し、PDCAサイクルが回っている状態	2020	仕入先の環境管理体制の調査実施	○	矢崎グリーン調達ガイドラインの改訂
ISO14001規格改訂への対応	ISO14001:2015年版の規格に応じた仕組みの見直しができている状態	2018	23事業所で新規規格への移行完了	○	新規規格への対応計画に基づいた体制づくりと審査受審
生物多様性への配慮・貢献	生物多様性の取り組みが共有され、地域・事業所の特長にあわせた活動が継続されている状態	—	地域ごとに活動事例を収集(39件)し、グローバルで情報を共有化	○	各地域の活動事例をグローバルで共有化
地球温暖化への対応					
CO ₂ 排出量の削減	グローバルで2020年度までにCO ₂ 原単位を2010年度比で20%削減	2020	グローバルでCO ₂ 排出量原単位、2010年度比23.8%削減	○	グローバルでCO ₂ 原単位を2010年度比で17%削減
再生可能エネルギー活用の推進	再生可能エネルギーの取り組みが共有され、地域、事業所の特長にあわせた活動が継続されている状態	—	各地域での取り組み事例を収集し、グローバルで共有化	○	各地域の活動事例をグローバルで共有化
循環型社会形成のための資源有効活用の推進					
排出量の削減	各地域の排出物削減が継続的に推進されている状態	—	・各地域の目標を達成 ・国内全事業所で廃棄物量2010年度比18.7%削減	○	・各地域で設定した目標の達成 ・国内全事業所：廃棄物量2010年度比18.7%削減維持
水資源の有効活用と影響の最小化	各地域での水資源(量、水質)の有効活用および改善活動が継続的に推進されている状態	—	各地域での取り組み活動事例を収集し、グローバルで共有化	○	各地域で設定した目標値の達成
環境負荷物質への対応					
欧州-ELV指令および欧州-RoHS指令への対応	欧州-ELV指令におけるANNEX IIへの確実な対応	—	・代替材の加工性評価を実施 ・混入リスクの特定と管理点を設定	○	サプライチェーンにおける混入リスクの評価
REACH規則・認可対象物質への対応	REACH規則にともなう法令遵守と顧客要求への対応	2017	特定フタル酸エステルの切替えを実施	▲	法令遵守および顧客要求への対応を継続して推進
POPs条約、化審法への対応	法令対応および顧客要求への確実な対応	2017	デカBDE含有部品、製品の在庫数量などの調査完了	○	デカBDE含有品の在庫の隔離状況の確認
中国車室内VOC規制への対応	車室内VOCの顧客要求が把握され、対応が明確になっている状態	2017	購入品、現調化学品でのVOC評価の仕組みを構築	○	環境管理シートへのVOC揮発量の評価項目の織り込み
欧州-殺生物性製品規則への対応	欧州-殺生物性製品規則の仕組みを構築し、各開発部門が仕組みの運用を開始している状態	2016	規制をチェックする仕組みを構築し、開発部署で環境管理シートによる運用開始	○	—
サプライチェーンにおける化学物質管理の強化	化学物質管理に関する課題を仕入先と共有し、PDCAサイクルが回っている状態	2019	測定以外の環境保証における基本的な考え方の構築	○	国内における環境保証体制の見直しおよび海外展開
VOC排出量の削減(事業所)	生産事業所においてVOC排出量を2000年度比で30%削減	2020	VOC排出量を2000年度比で51.5%削減	○	VOC排出量を2000年度比で30%削減
環境配慮型製品の開発					
環境配慮設計の推進	温暖化、資源循環、環境負荷物質を考慮した製品の開発および設計が行われている状態	—	環境配慮型製品認定規定に基づく環境配慮型製品の認定件数：33件	○	環境配慮型製品認定規定に基づく環境配慮設計の実施